

令和4年度 社会福祉法人 賀光会 賀光寮事業報告

賀光寮は救護施設に施設種別を変更して13年が経過しました。

社会福祉法人制度改革が進むなか、賀光寮では、組織運営のガバナンスの向上はもとより、地域からより信頼される「賀光寮」を目指し、地域貢献を目的とした実践を重ねてまいりました。

地域における公益的な取り組みを積極的、継続的に行うため、藤井寺市社会福祉施設連絡会及び大阪府社会福祉協議会の「大阪しあわせネットワーク」の一員として、施設間連携と協働による生活困窮者支援を行い、その一環として、一時生活支援事業、中間的就労等を行いました。中間的就労については利用がありませんでした。

また、地域の保育所等への陶芸教室の実施協力、高齢家族等への環境整備等、地域に向けての貢献活動を行いました。

利用者支援においては、法人の理念、基本方針に基づき、次のことを運営方針とし、利用者主体の質の高い総合的な福祉サービスの提供と作業科やクラブ活動の活性化に努めてまいりました。

そして、厚生労働省の「社会福祉施設等における新型コロナウイルスへの対応の徹底について」に基づき、新型コロナウイルスの感染防止対策に取り組みました。

以下のとおり、令和4年度に実施した事業を報告します。

令和4年度「賀光寮」運営方針

- 1 総合的な福祉サービスの提供
- 2 法令遵守
- 3 専門性の向上
- 4 経営の安定、透明化
- 5 地域共生と情報発信

1 総合的な福祉サービスの提供

(1) 生活支援

個別支援計画に基づき、利用者の意向を重視した支援を効果的に行いました。

ア 日常的な支援

作業、日常生活全般にわたる支援を行いました。

①生活支援	介助入浴、洗濯、清掃、買物などの支援を行いました。
②作業等 巡回支援	居室、作業室、食堂等を巡回し、特に心身に不調のある利用者を中心に、個々の状況を把握し、支援しました。
③夜間支援	夜勤時間帯に定時巡回し、体調の把握等の支援をしました。
④通院支援	定期通院や緊急受診時の同行等の支援や入院されている利用者の病状把握等を行いました。
⑤社会的 支援	新型コロナウイルスのワクチン接種、住民非課税世帯に対する臨時特別給付金の手続き、収入認定報告等について支援しました。

イ 生活相談

生活上の悩みや相談のある利用者に、第三者委員による巡回相談を8月、12月を除く偶数月に行いました。令和4年度は、計4回実施しました。

毎月1回、生活相談員に来ていただき、相談していただく予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大予防対策のため、相談員の勤務先から他施設への訪問が禁止されたため、令和4年度は、生活相談員による相談を実施できませんでした。

ウ 理学療法

理学療法士によるグループまたは個別のプログラムを、下半期からは週2回に変更して提供し、日常生活機能の維持向上を図りました。計116回、延べ565人に実施しました。

理学療法士による「集団体操」(テレビ体操、イス体操、ストレッチ運動等)は上半期に毎週金曜日を実施し、個別プログラムの利用者に加え運動不足の傾向がある利用者および活動性の乏しい利用者に参加を促し、下半期は毎週火曜日に変更して、参加を促しました。計36回、延べ36人が参加されました。

エ 訪問理容

定期的に訪問利用を設定し、利用者が散髪を行えるようにしました。

(料金1,500円 内1,000円は寮が負担)

令和4年度は、通所事業の利用者が延べ14人、利用者が延べ170人、計184人の利用者が利用されました。

12月は、職員が4人、利用者が3人、濃厚接触者の利用者が1人の新型コロナウイルスのクラスターが発生したため、中止となりました。

訪問理容利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	21	12	17	14	16	16	16	17	24	13	17	17	183
通所事業利用者	0	0	2	1	1	1	2	2	2	2	1	1	14

オ 居宅生活訓練事業及び保護施設通所事業による地域移行支援

地域移行を目指す利用者に生活技能の向上を目的とした支援を実施するとともに、地域移行にあたっては住居の確保や必要物品の購入など、必要な支援を行いました。

居宅生活訓練事業の参加者は、令和3年度からの継続利用が1人、令和4年7月から新規参加者2人が増え、合計3人となりました。

金銭出納、食事内容確認、栄養相談、健康相談や火の始末等の安全管理に関する支援を行いました。

保護施設通所事業は、令和4年5月から1人、令和4年6月から1人の計2人が通所と訪問指導を利用され、2人の方を支援しました。

しかし、令和5年3月に保護施設通所事業利用者の1人が、職員と賀光寮利用

者に暴力を振るわれたため、福祉事務所と調整し、保護施設通所事業の利用を中止しました。

カ 食事

食事は生活の楽しみの一つであるため、嗜好調査を参考に献立を作成し、また、健康の維持増進を考慮し、次のことを重視して食事を提供しました。

- ① 障害の状況や病状に応じて、献立を調整しました。
- ② 季節を感じ、美味しく食事をしていただけるよう、次表のイベント食などで献立に変化をつけました。
- ③ 給食委員会を毎月実施し、賀友会代表、栄養士及び職員が参加し、利用者の意見を献立に反映しました。
- ④ 嗜好調査を11月に実施し、そこでの意見を献立に反映しました。

【イベント食・行事食・おやつ】

月	イベント食	季節のメニュー	行事食	おやつ
4月	中華バイキング (鶏のから揚げ、春巻き等)	菜の花ちらし寿司	花見弁当	シフォンケーキ
5月	かつおのタタキ	ちらし寿司 柏餅		ワッフル
6月	天ぷらバイキング ざるうどん		バーベキュー	抹茶小豆ケーキ 代替(今川焼)
7月	うな井	七夕そうめん		バニラアイスクリーム
8月	ざるラーメン			桃のタルト
9月	サイコロステーキ オムライス	お月見ハンバーグ		おはぎ 代替(今川焼)
10月	天ぷら (秋尽くしメニュー)	ハロウィンメニュー	災害時備蓄食 (ビーフシチュー、 ご飯、味噌汁、水)	いもようかん
11月	おでんバイキング (卵、大根、牛すじ、こんにゃく、厚揚げ、竹輪等)	秋野菜メニュー (炊き込みご飯等)		きなこプリン
12月	クリスマスメニュー (サイコロステーキ、 グリルチキン、エビフライ 等 クリスマスケーキ)		年忘れ会 (握り寿司、ヒレカツ 等)	
1月	すき焼き (1人鍋)			ぜんざい 代替(今川焼)
2月	寄せ鍋 (1人鍋)	節分 巻き寿司	寿司会食	チョコロールケーキ
3月	海鮮丼 代替:(牛焼肉丼)	ひな寿司		牡丹餅 代替(スイートポテト)

【配慮食の状況】

配慮食の延べ人数 22人 令和5年3月31日現在

内 容	対象人数	内 容	対象人数
軟 飯	5	アレルギー食	4
減塩食	3	腎臓 透析食	1
糖尿食	2	きざみ食	7

【令和4年度栄養摂取目標量及び栄養摂取状況】

	熱量 Kcal	蛋白質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄 mg	レチノール 当量 ug	ビタミン B1 mg	ビタミン B2 mg	ビタミン C mg
基準量	2200	65.0	61.0	750	7.5	900	1.30	1.50	100
4月	1947	67.2	51.3	708	7.3	987	1.53	1.40	98
5月	1932	67.4	50.0	687	7.3	964	1.51	1.38	89
6月	1920	66.4	48.7	710	7.2	1084	1.50	1.41	95
7月	1969	68.6	52.7	732	7.7	1075	1.56	1.43	96
8月	1938	66.2	51.1	705	7.2	985	1.56	1.48	105
9月	1946	66.5	51.6	726	7.3	1049	1.55	1.41	96
10月	1878	64.2	50.1	707	6.7	964	1.53	1.39	91
11月	1946	67.3	51.3	732	7.4	1128	1.49	1.43	97
12月	1944	67.5	52.7	690	7.0	961	1.51	1.40	96
1月	1992	69.2	47.7	727	7.4	992	1.57	1.51	105
2月	1896	66.1	49.1	705	7.4	1048	1.40	1.32	83
3月	1926	65.6	48.5	689	7.2	1064	1.56	1.47	100
計	23214	802.1	604.8	7897	87.1	12301	18.27	17.0	1151
平均	1935	66.8	50.4	658	7.3	1025	1.52	1.42	96

(基準量の±20%以内が適量) (レチノール活性当量=ビタミンA)

キ 健康管理

利用者の健康情報を全職員が共有し、福祉事務所、医療機関と連携して、健康管理、健康増進、感染症予防に努めました。

具体的な対策は次のとおりです。

- ① インフルエンザ予防接種（11月実施）
- ② 服薬管理支援
- ③ 健康診断を年2回実施しました。

歯科検診は、令和4年度は実施しませんでした。

(寺井歯科医と相談した結果、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、口腔内の処置・ケアに関しては感染の危険が高いため実施しませんでした。)

- ④ 通院及び受診付添支援

⑤ 感染予防支援

新型コロナウイルス感染防止対策としては、

- ・外出から帰った時や食事前等に手洗いやうがい、手の消毒の実施を呼びかけました。
- ・利用者や職員には、毎朝の検温とその記録をするとともに発熱の確認をしました。
- ・来訪者の受付時に、検温による発熱確認をし、それを記録しました。
- ・居室等は、午前と午後に1回以上窓を開けて換気をしました。
- ・利用者へマスクを配布し、着用の注意喚起をしました。
- ・手摺やドアノブ等は、午前と午後に各1回以上、アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウムを使って消毒を行いました。
- ・車両の使用時と使用後には、アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウムを使って消毒を行いました。

そして、新型コロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザやノロウイルス等の感染症が疑われる状況が発生した場合は、早期の受診、個室の利用など感染の拡大を防ぐための体制を整えました。

利用者、職員ともにノロウイルス、インフルエンザの感染者はいませんでした。

新型コロナウイルスのワクチン接種のため、利用者の措置機関である福祉事務所へ相談し、利用者の住民票のある市町村にワクチン接種券の申請手続きを行い、ワクチンの3回目以降の接種に必要な支援を行いました。

新型コロナウイルスワクチン接種3回目6人、4回目14人、5回目20人がワクチン接種を行いました。

1人の利用者の方が、ワクチン接種を1回された後は、2回目以降のワクチン接種を、希望されず、接種されませんでした。

大阪府の要請により、令和4年4月までは、2週間に1回、職員のPCR検査を行いました。令和4年5月9日から、週2回の抗原検査に要請内容が変わり、週2回の抗原検査を実施しています。

感染状況については、令和4年12月5日に職員が新型コロナウイルスに感染発症し、その後12月8日に2人、12月9日に1人、合わせて3人の職員が感染発症し、保健所の指示のもと自宅療養等で、快復しました。

賀光寮の利用者は、12月9日に1人発症し、持病があり透析をされている方で、その事を考慮し、保健所から10日間の個室対応での感染対応の指示がありました。賀光寮の個室で感染対応を行い、快復されました。

その間、透析通院している藤井寺敬任会クリニック分院と連携を取り、感染対応をし、透析通院を行いました。

12月12日以降にその利用者の同室者（4人部屋）の2人が感染発症しました。1人は88歳と高齢で持病がある事から大阪はびきの医療センターに入院し、快復退院されました。もう1人は、保健所の指示のもと、賀光寮の個室で感染対応を行い、快復されました。あと1人の同室者は濃厚接触者として、保健所の指示のもと、経過観察を続け、発症はせず待機期間を終えました。

【賀光寮診療所の診察件数】

令和4年度各月延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
診 察	2	1	0	2	0	1	4	3	2	4	5	1	25
(内服処方)	2	0	0	2	0	1	2	2	2	3	2	0	16
(外 用)	1	1	0	0	0	0	2	1	0	1	4	1	11
インフルエンザ 予 防 接 種								37		2	1		40

(1人がインフルエンザ予防接種を拒否)

(賀光寮診療所以外で予防接種を受けた方は、1人)

【健康診断】

令和4年度各月延べ人数(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受診人数	2	2	1	1	29	8	1	0	3	10	16	15	88

【人工透析状況】

令和4年度各月延べ人数(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
藤井寺敬任会 クリニック(1人)	13	14	13	13	13	13	13	13	14	13	12	13	157

【入院の状況】

令和4年度各月延べ人数(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	34	100	143	140	129	91	61	33	41	19	28	36	855
延べ日数	30	31	30	31	31	30	31	30	20	19	28	31	342

【他医療機関受診状況】

令和4年度各月延べ人数(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
内 科	十川クリニック	3	4	2	14	16	4	3	4	4	12	13	12	91
	中本クリニック	3	3	3	4	4	2	2	2	2	3	3	2	33
	藤井寺市民病院	5	1	3	1	0	2	5	1	2	3	1	1	25
	はびきの医療センター	2	2	3	1	2	3	4	3	1	1	3	2	27
	城山病院	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	2	7
	やまどり医院	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	よしおか泌尿器科	4	6	6	6	0	2	0	2	2	1	6	3	38
	敬任会分院	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	4
	大阪赤十字病院	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	藤本病院	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
南河内おか病院	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	

整形外科	岩本整形外科	38	31	16	15	17	23	24	33	21	24	17	31	290
	城山病院	4	2	3	5	6	1	0	1	0	0	1	1	24
外科	田辺脳神経外科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	青山病院	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
	八尾総合病院	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	城山病院(脳神経外科)	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
眼科	にしごり眼科	2	1	0	3	1	3	0	2	1	2	1	2	18
	今井眼科	2	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1	3	18
	はびきの医療センター	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	4
	第二大阪警察病院	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	城山病院(眼科)	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
耳鼻科	たかの耳鼻科	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	6
	八尾市立病院	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
歯科	上杉歯科	8	5	6	6	8	13	8	8	5	8	14	13	102
皮膚科	葭矢皮膚科	1	2	0	0	3	0	1	1	1	1	1	3	14
精神科・診療内科	国分病院	2	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	8
	丹比荘病院	14	10	9	13	12	11	11	8	13	13	14	13	141
	林クリニック	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	ながいクリニック	1	2	4	3	5	2	2	2	2	2	2	3	30
	さわ病院	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計		94	76	63	75	81	73	63	70	61	76	79	93	904

ク 自治会活動

賀友会(利用者自治会)の定例会議を毎月開催し、行事や食事、健康管理、生活などの課題や要望等について話し合い、利用者の意見をサービス提供や行事等に反映しました。計12回、延べ162人の利用者が参加しました。

ケ レクリエーションの実施

令和4年度実施レクリエーション

実施月	行 事	内 容
毎月	七宝クラブ	毎月2回実施しました。ブローチやペンダントの製作を行いました。今年度は24回実施しました。
	寮内喫茶	月1回、コーヒー、紅茶、ジュース類、お菓子などを喫食し、利用者間の交流の場として実施しました。
	誕生会	新型コロナウイルス感染防止対策で外食での誕生会を実施できませんでした。誕生月の利用者の方の希望する昼食を外注し、誕生を祝いました。
4月	花 見	新型コロナウイルス感染防止対策のため、花見外出は中止しました。代替えとして花見気分を味わうため、弁当を注文し、賀光寮敷地内で食事を楽しみました。
5月	イベント湯①	季節の移り変わりを感じていただくため、5月に「しょうぶ湯」を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止しました。

6月	行事食	食を楽しみ、食生活に変化をつけるため、6月17日にポプラと合同で「バーベキュー」を実施しました。新型コロナウイルスへの感染予防を徹底し、行いました。
10月	賀光会バザール	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3密(密閉、密集、密接)を避けることが難しいと判断し、賀光会バザールは次年度に延期しました。
11月	救護施設合同文化事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。
	日帰り旅行	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。
12月	イベント湯②	季節の移り変わりを感じていただくため、12月に「ゆず湯」を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止しました。
	もちつき	新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止しました。
	年忘れ会	新型コロナウイルス感染防止対策のため、年忘れ会は会食のみの実施となり、ビンゴ大会は中止しました。
2月	行事食	回転すしを行う予定でしたが、食事の提供を依頼していた業者内で、ノロウイルス・新型コロナウイルスの感染が確認されたため、形を変えて、個別希望のすし弁当を注文して味わいました。

コ 災害対策

新型コロナウイルス感染拡大に落ち着きがみられたため避難消防訓練を6月8日に夜間想定で実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止策として、避難誘導時にマスクの着用と、避難場所へ集まっていた時に、隣の方との距離を十分に取っていただき避難訓練を実施しました。消防署に立会をしていただき、消防署から水消火器を借用し、消火訓練を行いました。

南藤井寺地区と合同で10月22日に自主防災訓練を実施することになった為、毎年9月に実施される「大阪府880万人訓練」に合わせた訓練は実施しませんでした。

10月22日は、賀光寮とポプラの合同で地震を想定した自主防災訓練を実施しました。訓練終了後に避難状況を南藤井寺地区の防災対策本部へ報告しました。南藤井寺地区防災訓練で行われた訓練に、利用者の代表として4人の方に応急救護(担架作成訓練)、初期消火(水消火器訓練)、煙霧体験、屋内テント・ベッド組立訓練に参加していただきました。訓練の終了後に賀光会職員・利用者で備蓄食の喫食体験を行いました。

また、備蓄食品の賞味期限の確認と併せて、簡易テント、発電機、ヘルメット等の防災機器の点検を行いました。

サ 環境衛生

寮内を清潔に保つために入浴設備、トイレ、居室、廊下、手すりなどを、マニュアルに沿って日常の清掃をしました。

シーツ交換日(2週間に1回)には居室等の床を塩素系薬品で消毒しました。令和4年度は26回行いました。

シ 新型コロナウイルス関連支援

緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置は出されませんでした。大阪府が府民に、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針に基づき、感染対策に関する協力要請をされました。

また、住民税非課税世帯等への臨時特別給付金が給付されることになり、この臨時特別給付金申請の支援を行いました。

支援の結果、利用者 39 人がこの給付金を受け取りました。しかし、2 人の利用者が給付金を受け取られていません。1 人の利用者は戸籍が無く住民基本台帳に登録されていないため、給付金申請の権利がなく、申請手続きができませんでした。後の 1 人は、入所時には申請期限が過ぎていて、福祉へ相談しましたが、申請期間が過ぎていたので給付することはできないとのことでした。

(2) 作業支援

利用者に自信をもたらし社会参加を促進するために作業支援を実施しました。利用者の個別支援計画に基づき、障害特性と医療的状况に配慮して行いました。

【作業科目別人員】

令和 5 年 3 月 31 日現在(単位:人)

	陶芸	農園芸	環境整備	OA	洋服リフォーム	ライトワーク	外部アルバイト	所属なし	合計
入所	3	4	6	3	1	11	0	24	52
保護施設通所事業	0	0	0	1	0	0	1	0	2
作業科ボランティア	0	1	1	0	1	1	0	0	4

※農園芸、環境整備の両科に所属している利用者 4 人

ライトワーク、環境整備の両科に所属している利用者 4 人

農園芸、環境整備、洋服リフォームの 3 つの科に所属しているボランティア 1 人

OA と外部アルバイトの両方に所属している保護施設通所事業利用者 1 人

【作業科別売上】

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日(単位:円)

作業科目	内容	売上額
陶芸	干支の土鈴等作成、陶芸教室開催	261,500
農園芸	野菜・果樹の育成	109,985
環境整備	樹木の消毒・剪定・除草	716,500
OA	パソコンによる文書作成、きずなの印刷・製本	17,930
リフォーム	ズボンなどの裾あげや雑巾等製作	22,300
ライトワーク	小さな段ボール箱組立等	332,211
合計		1,460,426

売上は前年度に比べ、増加しました。(前年度 1,357,676)

2 法令遵守

(1) 個人情報保護

利用者の個人情報について、個人情報保護規程を遵守しました。

(2) 身体拘束・虐待の禁止

運営管理規程と行動規範に基づいて、利用者への安心・安全なサービス提供に努めました。身体拘束廃止委員会を毎月開催し、身体拘束の状況について確認しました。身体拘束はありませんでした。

(3) 自己チェック

理念、倫理綱領、行動規範、人権尊重やコンプライアンスへの支援員の自己チェックについて、令和4年度は、理念の自己チェックを3月に実施しました。年度毎に各項目をかえて実施し、職員の意識向上を図っています。

3 専門性の向上

(1) 職員研修

職員の資質を向上し、サービスの質を高めるために、職域内研修と職域外研修を行いました。

令和4年度は、次表のとおり実施しました。

【職域外研修】 (21 件)

(単位：人)

研 修 内 容	回数	延べ 参加人数
基礎 (ウイズコロナ時代の利用者支援を考える、コミュニケーションスキルアップ等)	3	3
人権 (藤井寺市・藤井寺市社会福祉施設連絡会：ダイバーシティ研修)	3	3
医療 (新型コロナウイルス感染症対策研修)	1	1
栄養 (感染症・食中毒・予防対策研修)	1	1
運営 (管理運営・経営者セミナー、経理研修、幹部職員研修など)	13	24

【職域内研修】 (14 件)

(単位：人)

研 修 内 容	延べ 参加人数
理念研修 (3月)	13
新型コロナウイルス等の感染拡大の防止についての研修 (4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月)	163
人権研修 (3月)	13

(2) サービスの質の向上

利用者個々の支援についての検討、職員間の情報共有、支援の標準化、業務改善等を目的に、支援会議を月に2回、計24回実施しました。

(3) 苦情解決

苦情・要望については、ホームページで公表し、苦情解決システムの適切な活用を図るとともに、第三者委員による巡回相談を行いました。

また、苦情をニーズとして受け止め、サービスの質の向上に努めました。

(4) リスク管理

危機管理マニュアルに基づき、ヒヤリハット4件（薬の落下、誤薬、転倒、無断外出他）、事故報告33件（誤薬、転倒、無断外出、暴力他）の内容を毎月の職員会議で報告し、更にその発生がどうして起きたのか、どうすれば防げたのかを検証し再発の防止に努めました。

4 経営の安定、透明化

経営安定のため、福祉事務所、関連病院及び地域生活支援センター等の関連機関と連携し、入所定員を充足するように努めました。

触法者1人の入所を受け入れ、また、可能な限り緊急一時入所者（令和4年度9人）を受け入れました。一時生活支援事業の利用者は、2人の方が利用されました。

経営情報を賀光寮の広報誌とホームページ及び全国経営協ホームページに公開して透明性を図りました。

5 地域共生と情報発信

(1) 社会貢献

地域福祉に貢献するため公益的な取組等を行いました。

ア 生活困窮者等の支援のための相談受け入れを行いました。

イ 「大阪しあわせネットワーク」による生活困窮者への支援を実施しました。具体的には、藤井寺社会福祉協議会からの要請で、一世帯に食料・生活消耗品の購入費用について支援しました。（支援費用は、大阪しあわせネットワークの基金を利用しました。）

ウ 藤井寺市社会福祉施設連絡会の定例会議に出席しました。また、施設間協働による地域貢献活動（藤井寺市社協のフードバンクへの協力等）をしました。

(2) 地域貢献

ア 地元自治会の「南藤井寺ふれあいまつり」が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になりました。

イ 震災等の災害時に、避難場所や地域の方々に貢献するための備品、食糧等を準備しました。備蓄食は、地域の方用に20人分（3食×20人×3日＝180食）

を準備しています。

ウ 社会福祉現場実習、介護等体験の受け入れを次表のとおり行いました。

介護等体験は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため大阪府社会福祉協議会と四天王寺大学と協議した結果、受け入れを中止しました。

【社会福祉現場実習】

四天王寺大学（23日間）	2人
--------------	----

エ 地域の要請に応え、陶芸教室を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、実施できませんでした。

新型コロナウイルス感染防止のため、令和4年度は陶芸教室を実施できませんでしたが、陶芸教室の依頼が6ヶ所からあり、地域貢献のため、依頼先への粘土の販売と作品の焼成を行いました。

(単位：人)

団体名	回数	人数
藤井寺市立藤井寺第1保育所	1	29
藤井寺市立藤井寺第2保育所	1	25
藤井寺市立藤井寺第3保育所	1	30
藤井寺市立藤井寺第4保育所	1	17
藤井寺市立藤井寺第5保育所	1	15
藤井寺市立藤井寺第6保育所	1	13
合計	6	129

(3) 地域交流

地域の一員として、交流を促進するとともに地域福祉の向上を図りました。

ア ボランティアの受け入れを次表のとおり行いました。

【ボランティア】(年間延べ1,470人)

陶芸作業	延べ539人
農園芸作業	延べ931人

イ 賀光会バザールは、新型コロナウイルスの感染防止対策のため、3密(密閉、密集、密接)を避けた実施が難しいと判断し、賀光会バザールを来年度に延期しました。

ウ 地域と協働したもちつき大会(12月)を、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止しました。

エ 地域行事の「南藤井寺ふれあいまつり」（南藤井寺地区主催）は、新型コロナウイルス感染防止対策として、中止されました。

（４）広報活動、

ア 広報誌「きずな」を賀光会として年２回、年間約 650 部を発行しました。利用者、関係機関、理事、監事、評議員、行政、ボランティア、地域住民、賀光寮退所者、利用者家族、職員へ配布し、経営情報の掲載及び行事や日常的活動の紹介をしました。

イ 賀光会ホームページを令和４年７月に更新しました。

ウ 「南藤井寺ふれあいまつり」（南藤井寺地区主催）等の地域の行事に参加し、施設の広報を行っていましたが、令和４年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催されませんでした。

6 統計

(1) 年度末在籍者人員 (一時入所を含む) 令和5年3月31日現在 (単位:人)

		令和3年度	令和4年度
救護施設入所		44	41
(居宅生活訓練)		(3)	(3)
通所事業	通所	0	1
	訪問	0	1

(2) 月別在所者数 (月末人数) (単位:人)

令和3年度 (平均入所者数 45.5人)		令和4年度 (平均入所者数 41.9人)	
月	入所者数	月	入所者数
4月	46	4月	43
5月	47	5月	44
6月	48	6月	44
7月	48	7月	43
8月	47	8月	43
9月	46	9月	43
10月	46	10月	40
11月	45	11月	40
12月	43	12月	39
1月	43	1月	42
2月	44	2月	41
3月	44	3月	41

(3) 年齢構成 (平均年齢 63.5歳) 令和5年3月31日現在 (単位:人)

	年齢階層別								合計
	29以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80以上	
人数	0	2	4	6	4	8	12	5	41

(4) 障がい別人数 令和5年3月31日現在 (単位:人)

障害	身体障がい							他の障がい		合計 (内重複障害)
	音声言語	視覚	心臓	腎臓	呼吸器	直腸	肢体	知的	精神	
人数	0	2	2	1	2	1	4	5	10	27 (3)

(5) 入所期間 令和5年3月31日現在 (単位:人)

入所期間	1年未満	1~2年未満	2~3年未満	3~5年未満	5年以上	合計
人数	6	3	3	2	27	41

(6) 入退所の状況 (一時入所の入退所含む) 令和4年4月1日~令和5年3月31日 (単位:人)

令和3年度		令和4年度	
入所	退所	入所	退所
8	10	12	15

(7) 退所者の内訳 令和4年4月1日~令和5年3月31日 (単位:人)

	入院	帰宅	施設変更	地域生活	就職	病死	その他	合計
令和3年度	2	0	2	1	0	1	4	10
令和4年度	3	1	1	0	0	1	9	15

(8) 措置機関別のべ利用者数 (合計41人) 令和5年3月31日現在 (単位:人)

措置機関	人数	措置機関	人数	措置機関	人数	措置機関	人数
大阪市	10	茨木市	4	豊中市	1	摂津市	1
交野市	2	枚方市	5	高石市	1	岸和田市	1
東大阪東	1	東大阪西	1	富田林市	2	藤井寺市	5
淡路市	2	袋井市	1	木津川市	1	吉野市	1
羽曳野市	1	※宝塚市	1				

※自費入所の方は1人です。

(9) 公益的事業の実施

事業	回数・人数
相談支援事業	50件
しあわせネットワーク	1人
藤井寺市施設連絡会会議出席	6回・24人
緊急一時入所	11人
一時生活支援事業	2人
生活困窮者就労訓練事業	なし